２０２３年４月入学
鹿児島大学大学院人文社会科学研究科
外国人留学生特別選抜
新型コロナウイルス感染症対策特別入試
（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

地域政策科学専攻

国立大学法人 鹿児島大学
郵便番号　890-0065　鹿児島市郡元一丁目21番30号
電話番号　+８１-（０）９９-２８５-７６４６（法文学部大学院係）

人文社会科学研究科の教育目標及び方針

Ⅰ．学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科は，全学の学位授与の方針及び人文社会科学研究科の教育目標に鑑み，以下に示す方針に基づいて，学位を授与します。

博士後期課程においては，以下に挙げる能力を身につけ，所定の単位を修得し，博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

１．高い研究倫理と高度な人文社会科学分野の専門的な知識に基づいて独創的な研究を行うことができる能力
２．既存の学問分野の枠組みを超えた広い視野から，地域の抱える社会的・文化的問題に指導的な立場に立って取り組み，解決できる能力

Ⅱ．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科は，全学の教育課程編成・実施の方針及び人文社会科学研究科の教育目標に掲げる人材を育成するために，以下に示す方針に基づいて，教育課程（カリキュラム）を編成のうえ，実施します。

１．進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程を編成
①　博士後期課程においては，研究倫理に則り，人文社会科学分野の専門的な知識と方法を体系的に学ぶために，専門分野ごとの演習・講義等を開設します。また，博士論文を計画的に作成していくために，論文指導に関する授業科目を開設します。
②　博士後期課程においては，地域経営・地域政策的視点を身につけたリーダー，地域文化の担い手や島嶼地域の諸問題に対処できる人材を養成するための科目を開設するとともに，学生が課題設定し主体的に解決方法を研究するための「プロジェクト研究型」授業科目を開設します。また，指導教員・副指導教員を中心とした複数指導体制により，学位請求論文の質的向上をはかります。

２．目的・目標に応じた方法による教育の実施
学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

３．厳格な成績評価の実現
各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

Ⅲ．入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

＜人文社会科学研究科の教育目標＞

人文社会科学研究科は，鹿児島大学大学院唯一の人文社会科学系分野の研究科として，人文社会科学の高度な専門知識と研究能力を身につけた人材の育成を目指します。そのために次の教育目標を掲げます。

１．人文社会科学分野の高度な専門知識と技能を身につけ，諸課題を発見・探究・解決する能力を育みます。
２．高い研究倫理を身につけ，自他を客観的に省察し研究を遂行する態度を養います。
３．人文社会科学分野の専門的な知識と技能を活かして，地域の社会と文化の発展に貢献できる能力を育みます。

４．グローバルな視野をもち，国際社会の発展に貢献できる能力を育みます。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

人文社会科学研究科は，教育目標に定める人材を育成するため，次のような学生を求めています。

・修士としての確かな学力と，人文社会科学に関する基礎的教養を有する人
・専攻する専門分野についての体系的な知識と技能を有する人
・主体的に学ぶ態度を身につけ，専攻する専門分野に関連する諸問題に関心を持つ人
・専攻する専門分野について自ら課題を発見・探究・解決しようとする意欲に満ちた人
・地域の社会や文化について深く理解し，地域に貢献できる能力を身につけたい人
・グローバルな視野をもち，国際社会に貢献できる能力を身につけたい人

２．入学前に身につけておいて欲しいこと

・人文社会科学に関する基礎的教養
・専攻する学問分野についての体系的な知識と深い関心
・専門的な文献の内容を的確に理解する能力
・自己の見解や研究成果などを文章や口頭によって適切に表現できる力

３．入学者選抜の基本方針

このような学生を適正に選抜するために，Ⅰ期入試では，一般選抜，外国人留学生特別選抜，社会人特別選抜を実施し，Ⅱ期入試では一般選抜，外国人留学生特別選抜，社会人特別選抜，進学者選考を行います。また，指定校推薦入試（10 月入学）により外国人留学生特別選抜を行います。

・一般選抜，社会人特別選抜，進学者選考では，学力検査（論文審査・小論文の筆記試験）及び口述試験によって，人文社会科学に関する基礎的教養や専攻する専門分野についての体系的な知識と技能，主体的に学ぶ態度，専攻する専門分野に関連する諸問題への関心，専攻する専門分野について自ら課題を発見・探究・解決しようとする意欲，地域の社会や文化について深く理解し地域に貢献できる能力やグローバルな視野をもち国際社会に貢献できる能力を身につける意欲を評価する。これらの学力検査及び口述試験の評価結果に基づく総合的判断により，「求める人材像」に適合する者を選抜する。

・外国人留学生特別選抜では，学力検査（論文審査・日本語の筆記試験）及び口述試験によって，人文社会科学に関する基礎的教養や日本語能力，専攻する専門分野についての体系的な知識と技能，主体的に学ぶ態度，専攻する専門分野に関連する諸問題への関心，専攻する専門分野について自ら課題を発見・探究・解決しようとする意欲，地域の社会や文化について深く理解し地域に貢献できる能力やグローバルな視野をもち国際社会に貢献できる能力を身につける意欲を評価する。これらの学力検査及び口述試験の評価結果に基づく総合的判断により，「求める人材像」に適合する者を選抜する。

・指定校推薦入試では，面接と学業証明書等によって，人文社会科学に関する基礎的教養や日本語能力，専攻する専門分野についての体系的な知識と技能，主体的に学ぶ態度，専攻する専門分野に関連する諸問題への関心，専攻する専門分野について自ら課題を発見・探究・解決しようとする意欲，地域の社会や文化について深く理解し地域に貢献できる能力やグローバルな視野をもち国際社会に貢献できる能力を身につける意欲を評価する。これらの評価結果に基づく総合的判断により，「求める人材像」に適合する者を選抜する。

目　　次

人文社会科学研究科博士後期課程地域政策科学専攻

頁
人文社会科学研究科博士後期課程地域政策科学専攻の教育方針 ･････････････････ 1
外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試
学生募集要項 ･･･ 2

１．募集人員 ･･･ 2
２．出願資格 ･･･ 2
３．出願資格の個別審査 ･･･ 3
４．検定料払込方法･･･ 3
５．出願手続 ･･･ 4
６．出願に必要な書類等 ･･･ 4
７．試験日，試験科目，選抜方法 ･･･ 5
８．合格者発表 ･･･ 5
９．入学手続 ･･･ 6
10．注意事項 ･･･ 6
11．夜間主大学院 ･･･ 6
12．国際交流会館 ･･･ 7
13．入試情報の公開・開示 ･･･ 7
14．個人情報の取扱い ･･･ 7

概要（教育目的・研究内容）･･･ ９～20

付録
外国人留学生特別選抜新型コロナウイルス感染症対策特別入試（４月入学）
入学願書等出願関係書類

人文社会科学研究科 博士後期課程地域政策科学専攻の教育方針

１．地域政策科学専攻（博士後期課程）の教育目標

地域政策科学専攻は，自立して研究活動を行うに足りる研究能力及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍し得る高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を有する人材の養成を教育目標にしている。

また，地域の抱える社会的，文化的問題を自ら発見し，解決する能力を備え，既存の学問の枠組みを超えた広い視野からこれらの問題に取り組み解決する能力を有する人材の養成を教育目標にしている。

１．地域政策科学専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

１）研究者として自立して研究活動を行うに足る研究能力及びその基礎となる豊かな学識を身につけている。

２）専門家として地域の抱える社会的・文化的問題を発見し，解決する能力及び既存の学問分野の枠組みを超えた広い視野からこれらの問題に取り組み解決する能力を身につけている。

２．地域政策科学専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

１）地域経営・地域政策的視点を身につけたリーダー，地域文化の中核的な担い手や島嶼地域の諸問題に対処できる人材を養成するための必修科目を開設する。

２）地域の諸問題についての解決方法を学修するための「プロジェクト型」授業科目を開設し，研究成果の発表の場として，年１回の公開報告会を開設する。

３）職業を有する社会人を積極的に受け入れるために，夜間主大学院の制度を取る。

４）学位請求論文の質的向上をはかるために，指導教員を中心とした複数指導体制を取る。

３．地域政策科学専攻の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

①地域政策科学専攻の求める人材像

１）人文社会科学の基礎的教養を習得している人

２）専攻する学問分野についての体系的な知識を習得している人

３）地域社会が抱える諸問題に関心を持ち，その解決と地域社会の活性化のために高度な専門知識を身につけたい人

②入学前に身につけておいて欲しいこと

１）人文社会科学の各専門分野における基礎的な教養や論理展開力

２）専攻する学問分野についての体系的な知識

３）地域の諸問題に関心を持ち，それぞれの研究分野の立場から問題を発見する能力

４）それぞれの研究分野における調査・研究能力

５）外国人留学生においては，論理的かつ的確に表現することができる日本語能力

③入学者選抜の基本方針

Ⅰ期入試では，一般選抜，外国人留学生特別選抜，社会人特別選抜を実施し，Ⅱ期入試では一般選抜，外国人留学生特別選抜，社会人特別選抜，進学者選考を行う。また，別途，指定校推薦入試（10月入学）により外国人留学生特別選抜を行う。

１）一般選抜，社会人特別選抜，進学者選考

学力検査（論文審査・小論文の筆記試験）及び口述試験に基づき，これらを総合して選抜する。また，学業成績証明書等の書類は口述試験の参考資料とする。

２）Ⅰ期・Ⅱ期の外国人留学生特別選抜

学力検査（論文審査・日本語の筆記試験）及び口述試験に基づき，これらを総合して選抜する。また，学業成績証明書等の書類は口述試験の参考資料とする。

３）指定校推薦入試

面接と学業証明書等を総合して判断する。

外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試
学生募集要項

2023年4月入学鹿児島大学大学院人文社会科学研究科博士後期課程地域政策科学専攻学生を，次の通り募集する。

１．募集人員

地域政策科学専攻	若干人

２．出願資格

外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試を受験できる者は，日本国籍を有しておらず，かつ海外在住のため新型コロナウイルス感染症の影響により今年度受験機会がなかった者で，次の各号のいずれかに該当する者とする。

（１）修士の学位又は専門職学位を有する者又は２０２３年３月３１日までに取得見込みの者

（２）外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は２０２３年３月３１日までに授与される見込みの者

（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は２０２３年３月３１日までに授与される見込みの者

（４）我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（５）大学を卒業し，又は外国において学校教育における１６年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本研究科が当該研究の成果等により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（６）本研究科において，出願資格の個別審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２０２３年４月１日までに２４歳に達する者

※鹿児島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人鹿児島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生や規制対象となる居住者の受入れに際し厳格な審査を行っていますので、出願を希望する場合は、出願前できるだけ早い段階で問合せ先へ相談してください。
規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。
なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理に関するWebサイトを参照してください。
https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html

From the perspectives of exporting/transferring goods and providing technologies outside Japan, Kagoshima University has established the "National University of Kagoshima Security Export Control Regulations" in accordance with the "Foreign Exchange and Foreign Trade Act" and has strict rules relating to the admission of international students from countries and organizations that are subject to this legislation.

Since screening can take a long time, so if you wish to apply, please consult with us as early as possible.
Please note that if you fall under any of the restricted categories, you may not be admitted to the university or your desired research activities may be restricted.
For more information, please refer to the following website regarding our university's security export control.

https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html

３．出願資格の個別審査

出願資格(５)又は(６)によって出願しようとする者は，事前に出願資格認定審査を個別に行うので，２０２２年９月２６日（月）９時～９月２７日（火）16時までの間に「５．出願手続」の「(２)出願書類提出先及び問い合わせ先」に問い合わせ，所定の手続きを完了すること。出願資格個別審査の結果は，２０２２年９月３０日付で本人宛に通知する。

４.検定料払込方法

検定料：30,000 円
次のいずれかの方法により支払ってください。

但し、令和５年度第Ⅰ期入試に出願した者のうち、新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限等により、日本への入国ができず、止む無く試験を欠席した者については、今回の入学検定料の納入を免除する。

１．コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。）

⑴　「鹿児島大学大学検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、事務手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。

⑵　支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、付録「検定料収納証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けてください。

⑶　支払期間

２０２２年９月２６日（月）から２０２２年１０月６日（木）１５時まで

（「Web サイトでの申込み」は、支払期間終了１時間前まで）

２．クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。）

⑴　「鹿児島大学検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、事務手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。

⑵　支払後、「入学検定料・選考料　取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、付録「検定料収納証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けてください。

⑶　支払期間

２０２２年９月２６日（月）から２０２２年１０月６日（木）１５時まで

５．出願手続

(1) 出願期間及び出願方法

出願期間	２０２２年１０月３日(月)～１０月６日(木)

郵送の場合は，必ずEMS（国際スピード郵便）を利用し，期限内に必着のこと。

なお，代理人が出願書類を持参する場合の受付時間は，日本時間の９時から16時までとする（12時から13時を除く）。

なお，万が一，国際郵便の遅れなどにより出願書類が所定の期間に届かなかった時のために，全ての出願書類をPDF化し，出願期間中に法文学部大学院係（ssmcdc@kuas.kagoshima-u.ac.jp）まで電子メールにて送付すること。

(2) 出願書類提出先及び問い合わせ先

鹿児島大学法文学部大学院係

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番30号

電話 ＋81 - (0)99 - 285 - 7646（日本語のみ対応）

問い合わせは日本時間の９時から17時まで（12時から13時を除く。土・日曜日，祝日を除く）。

学生募集要項はウェブサイトのみでの公開となり，冊子等の配付は行いません。

６．出願に必要な書類等（提出された書類等は一切返却しない。）

(1) 入学願書	本研究科所定の用紙に必要事項を，日本語で記入すること。 ※履歴事項欄の学歴については,高等学校入学時から記入すること。
(2) 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を日本語で記入し，写真は，出願前３か月以内に撮影した正面上半身無帽のもの （縦4.5cm×横４cm）を貼付すること。
(3) 入学検定料納入証明書類（免除者は提出不要）	外国送金依頼書の写し又は振替払込受付証明書（お客さま用）
(4) 学業成績証明書	出身（所属）大学院（修士課程）の学長又は研究科長が作成し，厳封したもの。
(5) 修了（見込み）証明書	出身（所属）大学院（修士課程）の学長又は研究科長が作成したもの。
(6) 受験理由書	新型コロナウイルス感染症拡大に起因する日本国への入国制限等によって，本研究科の令和５年度第Ⅰ期入試又は第Ⅱ期入試を受験できなかった理由を記述すること（書式は問わない）。
(7) 研究報告書等	修士論文に準ずる程度の研究報告書（本学所定の様式（**様式Ｂ－１**）を用い，日本語の場合は8,000字程度，英文の場合は3,200語程度，ワープロ原稿が望ましい。）又は専攻希望分野の論文

(8) 研究計画書	１．これまでの研究成果（日本語で500字程度） ２．今後の研究計画（日本語で700字程度） 本学所定の様式（**様式Ｂ－２**）を用いること。
(9) 身分を証明する書類	政府又はこれに準じる機関が発行した身分証明書の写し。
(10) 履歴書	本学所定の用紙を用い，日本語で記載すること。出願前３か月以内に撮影した正面上半身無帽のもの（縦4.5cm×横４cm）を貼付すること。

（注）出願書類のうち，日本語以外の言語で書かれたものは，すべて日本語の訳文を添付すること。
なお，提出された書類については，学務業務のために利用し，他の目的には利用しない。

入学希望者への注意事項

地域政策科学専攻では大学院設置基準第１４条に定める教育方法の特例措置（夜間授業の履修）に基づき昼夜間開講を行っている。

７．試験日，試験科目，選抜方法

(1) 試験日及び試験科目

試　験　日	試　験　科　目
２０２２年１１月３日（木） （予備日：２０２２年１１月５日（土）） 詳細な試験時間と受験方法は受験者に後日通知する。	Zoomによるオンライン面接

(2) 面接の概要

出願時に提出された研究計画書および研究報告書等に基づき，専門分野に関する知識を問い，併せて日本語の能力を検査する。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は，面接及び学業成績証明書等の書類を総合して行う。

【配点：書類審査100点（学業成績証明書50点，研究計画書と研究報告書又は研究論文50点），
面接200点（提出論文等に関する口頭試験100点，日本語能力に関する口頭試験100点）】

(4) Zoom接続テスト

Zoomが適切に機能するかどうかを確認するため，２０２２年１０月２８日（金）までにZoomの接続テストを行う。詳しくは電子メール等により受験者に直接連絡する。

８．合格者発表

２０２２年１１月１４日（月）（予定）

法文学部玄関に掲示するとともに，合格者には，本人あて合格通知を送付する。また，本研究科ホ

ームページ（https://gs.kadai-houbun.jp/）にも合格者の受験番号を掲載する。なお，電話等による照会には，一切応じない。

９．入学手続

(1) 入学手続日時

２０２３年３月６日（月）～３月７日（火）　ただし，土・日曜日，祝日を除く。

受付時間は日本時間の９時から16時までとする（12時から13時を除く）。

(2) 入学手続場所

鹿児島大学法文学部大学院係で手続きを行うこと。（郵送も可）

(3) 入学料及び授業料

入学料	282,000円	（予定額）
授業料　後期分	267,900円	（年額535,800円）（予定額）

＊授業料改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用される。

＊入学料及び授業料については，それぞれ免除及び徴収猶予制度があるので，希望者は早めに手続きについて鹿児島大学法文学部大学院係（電話 ＋81 - (0)99 - 285 - 7646）まで問い合わせること。なお，入学手続後に入学を辞退する場合，入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり，入学料を納入していただくことになります。

10. 注意事項

(1) 出願にあたっては，教員の専門分野，研究内容をよく検討し，入学後に指導を希望する教員に，出願の可否を事前に確認すること。

(2) 出願書類に不備がある場合は受理しない。

(3) 出願後の提出書類の内容変更はいかなる事由があっても認めない。

(4) 一度受理した出願書類は，いかなる理由があっても返還しない。

(5) 既納の入学検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しない。

ア．検定料を払い込みしたものの，出願手続きをしなかった場合

イ．検定料を誤って二重に払い込みした場合

(6) 障害（学校教育法施行令第22条の３に準ずる身体障害の程度）がある場合は，出願前に本研究科と相談をすること。

(7) 受験者は，試験当日，受験票を必ず持参すること。

(8) 受験票は，入学手続きの際必要となるので紛失しないこと。

(9) 不明な点は，鹿児島大学法文学部大学院係（電話　+81-(0)99-285-7646）へ問い合わせること。

(10) 試験科目は，Zoomによるオンライン面接になるので，インターネット環境（できれば有線接続），Zoomに対応した音声機能のあるカメラ付きパソコン，マイクなど，受験者が責任をもって準備すること。なお，受験者の使用機器等が原因でオンライン面接の実施ができなかった場合，本学は責任を負わない。

(11) 面接時は必ず周囲に人がいない静寂な環境で通信すること。なお，面接員よりカメラを動かして周囲の環境を映すよう指示された場合は，その指示に従うこと。

11. 夜間主大学院

地域政策科学専攻は，社会人を主たる対象とした夜間主大学院として設置された。したがって，大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育（昼夜開講制）を実施する。

夜間の授業時間帯は以下のとおり。

夜間１限　18：10～19：40
夜間２限　19：50～21：20

なお，社会人学生の研究計画と履習計画を考慮し，夜間以外の特定の時間，時期に授業又は研究指導を行うことがある。

12. 国際交流会館

本学には，外国人留学生の居住施設として国際交流会館がある。入居を希望する者は、鹿児島大学学生部国際事業課留学生係（電話　099-285-7325）まで問い合わせること。

13. 入試情報の公開・開示

入試情報の公開

人文社会科学研究科ホームページ（URL https://gs.kadai-houbun.jp/)に以下のとおり公開する。

公　開　事　項	公　　開　　時　　期
志願者数 受験者数	試験終了後 試験終了後
合格者数	合格者発表後
入学辞退者数 入学者数	２０２３年４月１日以降

入試情報の開示

(1) 評価方法は，請求に基づき法文学部大学院係で開示する。
　開示の時期は，試験終了後とする。
(2) 受験者本人からの請求に基づき，面接等の評価，合否の別を開示する。開示を希望する者は，法文学部大学院係（電話　+81-(0)99-285-7646）に問い合わせること。ただし，開示期間は合格者発表後２か月間とする。

14. 個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の制定に伴い，出願書類等により志願者から提出された個人情報については，入学者選抜・合格者発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導等，授業料の債権管理を行うためのみに利用し，他の目的には利用しない。

人文社会科学研究科　博士後期課程

地域政策科学専攻の概要

人文社会科学研究科　博士後期課程地域政策科学専攻の概要

１．履修プログラム

開設する履修コースは次の３つである。

・　地域政策コース

現在，地方分権化と地域の構造改革に伴い，地域社会は，地域産業の構造的改革，地域の活性化，市町村合併，情報公開など，極めて多角的かつ複雑な問題に直面している。このような中で，自治体職員や民間企業のビジネスマンには，総合的な見地から的確な判断を下し，それを実行する能力，プロジェクトを企画・管理する能力が求められている。こうした能力を養うために，地域自治政策地域資源政策，地域情報，地方財政，農村経営等に関する科目を履修することで，地域の政治・経済・財政・経営に関する理解を深め，経済・経営感覚を養う。

・　文化政策コース

社会の変化に対応し，地域の人々の多様な価値観を尊重しながら，ＮＧＯ・ＮＰＯ活動，地域のニュース配信・発信，文化政策，教育政策，文化イベントの立案・実行を行えるリーダーの育成を目指して，地域文化についての深い知識とそれを地域経営という側面から見る視点，経済・経営に関する知識，情報機器・情報政策に関する専門的知識，生命倫理・法倫理の問題等に関する知識を養う。

・　島嶼政策コース

島嶼地域は，豊かな自然や文化的資源に恵まれている一方で，過疎化，高齢化，産業の衰退，自然環境の保護など，とりわけ現代の地方社会が抱える様々な問題が集約的かつ顕著に表れる地域である。しかし，そうした諸問題への解決策の糸口もまた同時に見出せるのが島嶼地域である。ゆえに，島嶼でのフィールドワークを通してこれらの諸問題を探求するとともに，独自の解決策を学問的に構築し対処できる研究者・専門家が求められている。そのため，本コースでは，島嶼地域の産業・経営，情報・社会，言語・文化，自然・環境等に関する深い専門知識を養い，問題解決のためのプロジェクトを企画・立案できる能力を育成する。

２．人文社会科学研究科地域政策科学専攻の特色

【プロジェクト研究】

現実社会の切実な問題に対応し，地域の声を反映したプロジェクト・テーマを設定し，プロジェクト研究を履修する。学生は，具体的なプロジェクトに参加する中で，地域の諸問題についての解決方法を学修し，年１回の公開報告会を行い，それぞれの研究成果を発表する。

【プロジェクト研究のテーマ】

本研究科が行ったプロジェクト研究テーマには，以下のようなものがある。

「市町村合併と住民意識」
「鹿児島が育んだ国際化活動の先駆け」
「農業とグリーン・ツーリズム」
「生活スタイルから見た遠隔地の交通体系」
「地域の人々と観光とのかかわり」
「グローカル時代の災害対策」
「地域　多様性　エンパワーメント」
「コミュニティと文化の再構築」
「受容・共生・地域学」

３．コースと所属教員

所属コース	教 員 名	専　門　分　野	備 考
地域政策	王　　鏡凱	企業金融，組織の経済学	
	市川　英孝	地域情報論	
	城戸　秀之	現代社会論	※
	櫻井　芳生	現代社会学，社会関係論	※
	松田　忠大	商法	
	平井　一臣	日本政治史，地方政治	※
	原田いづみ	ジェンダー論	
	安部　幸志	地域心理援助論	※
	大薗　博記	社会行動論	
	富原　一哉	人間行動学	※
文化政策	柴田　健志	哲学，倫理学	※
	石田　智子	考古学	
	渡辺　芳郎	物質文化論，近世考古学	※
	太田　一郎	社会言語学，メディアとことば	※
	丹羽　謙治	日本近世文学，日本近世文化	※
	三木　夏華	中国方言学，中国語法史	
	大田由紀夫	中国近世史	※
	細川　道久	カナダ史，イギリス帝国史	※
	藤内　哲也	ヨーロッパ史，中近世イタリア史	
	竹岡　健一	現代ドイツ文学，出版学	※
	竹内　勝徳	アメリカ文学，表象文化	※
	大和　高行	イギリス文学，イギリス演劇論	※
	梁川　英俊	地域文化学，文化人類学	※
	尾崎　孝宏	社会人類学，内陸アジア地域研究	※
	兼城　糸絵	文化人類学	
島嶼政策	西村　　知	農業経済，東南アジア経済	※
	髙宮　広土	島の先史学	※
	山本　宗立	熱帯農学，民族植物学	※

※は指導教員を示す。

４．授業カリキュラム

コースカリキュラム

共通・コース	必修科目	選択必修	授業科目名	単位
共通	◎		特別研究Ⅰ	2
	◎		特別研究Ⅱ	2
	◎		プロジェクト研究Ⅰ	2
	◎		プロジェクト研究Ⅱ	2
		●　○　△	特殊論文研究	2
地域政策		●	経営財務論	2
		●	地域経済論	2
		●	経済政策論	2
		●	国際経済論	2
		●	地域情報論	2
		●	環境経済論	2
		●	現代地域社会論	2
		●	地域社会関係論	2
		●	海運の法システム	2
		●	国際関係論	2
		●	地域政治論	2
		●	比較農業経営論	2
		●	地域心理援助論	2
		●	社会行動論	2
		●	人間行動学	2
		●	地域政策特論	2
文化政策		○	応用倫理学	2
		○	考古資源論	2
		○	物質文化論	2
		○	日本社会史	2
		○	社会言語学	2
		○	書籍文化論	2
		○	地域言語文化史	2
		○	東アジア言語文化論	2
		○	東アジア比較社会論	2
		○	東アジア比較文化論	2
		○	多文化社会史	2
		○	ヨーロッパ社会史	2
		○	ヨーロッパ現代文学論	2
		○	ヨーロッパ近代文学論	2
		○	文化テクスト論	2
		○	ヨーロッパ・アメリカ比較文化論	2
		○	比較音楽文化論	2
		○	多言語文化論	2

		○	社会人類学	2
		○	内陸アジア比較社会論	2
		○	比較宗教論	2
		○	文化政策特論	2
島嶼政策		△	島の先史学	2
		△	島嶼経営論	2
		△	島嶼産業論	2
		△	島嶼経済論	2
		△	島嶼人類学	2
		△	島嶼信念システム論	2
		△	島嶼社会論	2
		△	島嶼自然論	2
		△	島嶼政策特論	2

◎：必修科目

● ○ △：選択必修

所属コース以外の選択必修科目から１科目以上を選択すること。ただし，プロジェクト支援科目をこれに充ててもよい。

５．授業科目の講義等の内容

共通科目

授業科目名	講　義　等　の　内　容
特別研究	学生が博士論文を作成するための授業である。学生は指導教員の指導のもと，各自研究テーマを立て，それを解決するためのプログラムを作成し，それに従って資料収集，論理構築，討論などを行ったのち，博士論文を完成させる。
プロジェクト研究~~Ⅰ Ⅱ~~	この授業では，学生が統一テーマを設定した上で共同ないしは個人で研究を遂行するものである。その成果は学期末の報告会で口頭発表するとともに報告書としてまとめる。学生は自己のテーマや調査研究方法を模索し，中間発表を重ねて教員や他の学生からの意見や助言を聞き発表内容を固めながら，他分野の発表を聞き意見を陳述することで，研究者としての力を総合的に高める。
特殊論文研究	社会人で研究業績のある人は，指導教員と相談の上，入学１年後に受講申請をすることができる。学生は，まず，指導教員と研究成果の内容について検討したのち，後期授業終了後に開かれるプロジェクト研究報告会での公開発表に向けて準備し，発表する。以上の条件を満たした場合は，本授業科目を「プロジェクト研究」に読み替えることができる。

プロジェクト支援科目

授業科目名	講　義　等　の　内　容
プロジェクト支援科目	プロジェクト研究を行う上で理系の専門的知識が必要になった場合には，本学の理系研究科の開講する授業科目を受講して，研究を深めることができる。例えば，地域の農村経営に関するプロジェクト研究を進める上で農業市場学に関する専門的知識が必要な場合，学生は本学大学院連合農学研究科の開設する関連授業科目を受講し，研究に役立てることができる。なお，本授業科目は，鹿児島大学博士教育委員会の仲介のもとに全学的な支援を受けて開設する授業科目である。本科目は，選択必修科目によむことができる。

地域政策コース

授業科目名	講　義　等　の　内　容
経営財務論 王　鏡凱　准教授	安いものを買い高いものを売るというお金の理論は，国・地域や企業・個人によらず世界共通である。企業の経営資源の中で最も汎用性の高いものが“お金”である。本講義では，企業価値最大化の観点から，経済学的アプローチで企業経営の事業戦略(多角化戦略と逐次投資戦略)と財務戦略(資金調達と利益還元)を分析する。
地域経済論 未定	未定
経済政策論 未定	未定
国際経済論 未定	未定
地域情報論 市川 英孝　准教授	地域を分析するときに苦慮するのは,適切な精度の高い情報がないということである。前期の講義では，既存の統計・メディアから受講生の研究分野で必要なデータを収集・加工し，地域経済における情報の意味を考えていく。後期では，地域経済を情報のネットワークとして把握したときの企業行動について検証を行う。
組織の経済学 王　鏡凱　准教授	組織の経済学（Organizational Economics）とは，組織を分析対象とするミクロ経済学の応用分野である。戦略立案も，組織設計も，そして組織を動かすのも人である。人こそがあらゆる経営資源の中で最も大切なものであり,また感情や価値観に大きく支配される生き物であるためお金の論理だけでは通用しない。本講義では，組織のジレンマ，コーディネーション問題,信頼の形成という根源的問題をゲーム理論を用いて分析し，組織にかかわる様々なインセンティブ問題を考察していく。
環境経済論 未定	未定
現代地域社会論 城戸 秀之　教授	戦後の日本社会は産業化と都市化の進展により大きくその姿を変えている。講義では，生活構造や生活様式の消費化と情報化に焦点を合わせ，消費社会・情報化社会という視点から地域社会のあり方を考察していく。
地域社会関係論 櫻井 芳生　教授	地域社会は，社会関係のなかで成立している。本授業では，ミクロな社会関係の諸相を実証的に把握することを目指す。また，現代社会科学における先端的な理論道具についても学習する。本授業では，履修者の問題関心ともすりあわせながら，地域の社会関係をネットワーク・社会ゲーム・生物学的人間などの視点から分析してゆく。

海運の法システム 松田 忠大　教授	「海商法」の分野について講義をする。海商法は海上物品運送を中心とした海上活動を対象とする法分野である。あまり知られていない法分野であるが，わが国の経済は，国際貿易に支えられており，多くの企業が物資の海上運送に頼って活動している。したがって，海商法は，海上運送企業のみならず，様々な業種の企業実務に密接に関連する。海商法の歴史は古く，また，海上運送を中心とする海上活動は，広い海をその舞台とし，諸外国との間で行われることが多いことから，国際性をも兼ね備えた法分野でもある。この授業では，海商法の基本概念を理解するとともに，海上物品運送契約の内容，海上運送人の責任制度，その他海上航行に関する法制度等を講義する。
国際関係論 未定	未定
地域政治論 平井　一臣　教授	地方分権改革が進むなか，地域政治の舞台でも様々な変化がおきている。たとえば，全国各地での住民投票の実施や行政による住民参加手法の採用，さらには議会改革の着手など，変化の領域は多岐にわたっている。地域政治の主要なアクターである，住民，行政，議会のそれぞれの特徴を踏まえながら，今日の地域政治が抱える諸問題を考察する。
ジェンダー法 原田いづみ　教授	ジェンダーとは，性や性のあり方によってその個人の方向性を決めつけることを問題にする概念であり，性的マイノリティの存在も前提とする。本講義では，このようなジェンダーの視点から社会的事象や法制度の問題性を検証し，すべての人が性や性のあり方にかかわらず個人として尊重される社会の実現のために何が必要かを考える。
比較農業経営論 西村　　知　教授	国際比較が中心の本講義は，「地域比較論」とは異なり，対象を農業が主力産業となっている国・地域の分析に絞る。グローバルな開発援助にあっても，農業開発のウェイトは大きい。東南アジアの農業と大きく重なり合う南九州の農業経営は，今後，東南アジアの農業経営を視野に入れることが重要になる。地域のネットワークを東南アジアにまで広げる手法についても検討する。
地域心理援助論 安部　幸志　教授	地域社会の中で生じる様々な課題と，それに対する心理的援助について理解することを目指す。具体的には，高齢化が進む地域で求められる認知症や介護ストレスに対する支援，自殺やうつ病対策，自然災害に関するこころのケアのあり方等について，実際に調査・分析を行い，エビデンスに基づいた考察を行う。
社会行動論 大薗 博記　准教授	家族関係，友人関係，地域社会，国家など，私たちは大小様々な集団に所属し，日々意思決定を行っている。本講義では，進化心理学や文化心理学といった心理学的視点を中心にしながら，社会の中で生きる人間の行動と，人間行動の集積としての社会，そして，その間のダイナミックな関係について考察していく。
人間行動学 富原　一哉　教授	人間行動学は，さまざまな心理的・社会的状況下での人間行動の背後にある法則を解明し，人間行動に関連する諸問題の解決を目指すものである。本授業では，人間行動の基本的原理として，学習理論，脳・神経メカニズム，進化学的観点，認知的バイアス等を学び，これらの知見に

	基づいて，地域社会で生じている現実的問題の解決法を考察していく。
地域政策特論	既存の開設科目以外の研究分野について，本専攻および外部の講師によって担当される講義となる。具体的な授業の内容については，講義担当者が決定したときに掲示連絡を行うので，注意して履修を申し込むこと。

文化政策コース

授業科目名	講　義　等　の　内　容
応用倫理学 柴田 健志　教授	応用倫理とは，生命倫理や環境倫理のような新しい倫理学の分野を指している。最近では情報の倫理や性の倫理まで構築されようとしており，応用倫理という名目で講義されうる領域はますます広がっている。したがってこの授業でも，従来の倫理学が取り扱ってこなかった様々な事象を倫理的な視点から検討する。
考古資源論 石田 智子　准教授	先史時代の考古資料の解析を基に，多様な地域や社会との比較を通じて，過去の人類社会の構造や変化を解明する視点や方法を論じる。考古学の諸理論や調査方法，考古資料の活用方法についても考察する。
物質文化論 渡辺 芳郎　教授	物質文化は，つねにある特定の「形態」を有している。その「形態」は，素材・技術・機能・用途・意味など複数の要因により規定されている。ある物質文化の「形態」がいかなる要因により決定され，そして変化するのか。近世陶磁器を主な素材としながら検討する。
日本社会史 未定	未定
社会言語学 太田 一郎　教授	本授業では，言葉のバリエーションや言語行動などの言語にかかわる様々な問題を特に社会との関連からとらえ，われわれの日常世界を構成し，文化の基盤となる言語についての理解を深める。また，言語に関する問題の調査・分析方法などについても検討する。
書籍文化論 竹岡 健一　教授	本授業では，書籍の「メディア」や「物」として特性に焦点を当て，書籍文化を研究する上で必要な専門的な知識や視点，および近年の動向などについて理解を深めるとともに，また，書籍文化に関するテーマの調査・分析に必要な研究能力を養う。
地域言語文化史 丹羽 謙治　教授	地域に根ざした文学・芸能・文化に関する言語表現資料の掘り起こしを通して，従来の学問分野を越境して総合的に文化を捉えなおす。言語文化資料の読解はもとより，資料の保存や資料紹介のありかたについても考察する。

東アジア言語文化論 三木 夏華　准教授	本授業では中国語に焦点を当て，東アジア文化圏の言語との関係について比較対照的な考察を行う。また，近代以降の白話文献の講読を通して，通時的，共時的観点から中国語の様相を明らかにする。更に，中国語方言調査などのフィールドワークのための研究理論の構築，調査方法，分析方法の教授も行う。
東アジア比較社会論 大田 由紀夫　教授	本授業では，近世東アジア経済史研究に関する文献・資料等の検討を通じて，現在この分野における研究がどのように展開されているのかをめぐる認識を得るとともに，東アジア社会経済の歴史に対する理解を深める。
東アジア比較文化論 未定	未定
多文化社会史 細川 道久　教授	本授業では，カナダに焦点を当て，移民社会の形成，移民政策の展開，移民と国民統合・社会統合など，移民社会にまつわる諸問題について歴史的に考察する。あわせて，他の社会との関係史・比較史的考察を行い，多民族・多文化社会の歴史的展開に関する理解を深める。
ヨーロッパ社会史 藤内 哲也　教授	本授業では，中世～近世のヨーロッパ・地中海世界をおもな対象とし，政治，経済，社会，文化，宗教，環境などの多様な要素が織りなす社会の構造や変容のプロセスについて歴史学的に考察する。あわせて，他の時代や地域との比較史的な検討を行うことで，ヨーロッパ社会の歴史的な展開や特質について理解を深める。
ヨーロッパ現代文学論 竹岡 健一　教授	本授業では，ドイツ語圏の文学を核としながら，19 世紀末以降のヨーロッパにおける文学の展開を，主として社会思想，心理学，語りの理論，および書籍の製造・販売といった観点から考察することにより，ヨーロッパ現代文学が有する特性に対する理解を深める。
ヨーロッパ近代文学論 大和 高行　教授	本授業では，近代初期から 18 世紀初頭までのイギリス演劇を軸としながら，劇場構造の変化，観客の嗜好の変化，演劇批評や道徳改善運動の影響によってもたらされたヨーロッパ近代文学の質的変化について，比較文学・演劇史的観点から考察する。
文化テクスト論 竹内 勝徳　教授	この授業では，アメリカの小説を中心として文学研究や大衆文化研究，音楽研究などを横断的に取り扱い，その流動する文脈と作品テクスト（様々な要素から複合的に構成された作品構造）の関係に着眼し，文化の特質や可能性を明らかにする。

ヨーロッパ・アメリカ比較文化論 梁川 英俊　教授	本講義では，特に英語圏及び仏語圏を中心とした西欧諸国の言語的・社会的・文化的特質に関して，その明治以来の日本への受容の歴史という問題を考慮しつつ，相互の比較対象という方法によって分析・検討することを目的としている。
比較音楽文化論 梁川　英俊　教授	本授業では世界の諸地域の文化を「ウタ」という視点から比較しつつ考察する。各々の文化圏におけるウタの生成・伝播の歴史的なプロセスを，旋律構造や音階といった音楽的な観点から考察するのみならず，それを取り巻く社会，伝統，宗教，生活様式等と関連づけながら比較・考察してみたい。
多言語文化論 未定	未定
社会人類学 未定	未定
内陸アジア比較社会論 尾崎 孝宏　教授	主としてモンゴル系の移動牧畜民社会に関する文献を輪読し，内容に関する議論を通じ，移動牧畜民研究の最先端を理解すると同時に，学術論文という文章ジャンルのフォーマットを体得できるようにする。なお，文献選択は日本語もしくは英語のものを，受講者との相談で決定する。
比較宗教論 兼城 糸絵　准教授	本講義では主に東アジアを対象とした文献をとりあげながら，宗教人類学の最新の研究動向について議論していく。特に，人類学の諸理論に関する理解を深めるほか，民族誌の作成方法についても検討していく。
文化政策特論	既存の開設科目以外の研究分野について，本専攻および外部の講師によって担当される講義である。具体的な授業の内容については，講義担当者が決定したときに掲示連絡を行うので，注意して履修を申し込むこと。

島嶼政策コース

授業科目名	講　義　等　の　内　容
島の先史学 髙宮 広土　教授 （鹿児島大学 国際島嶼教育研究 センター）	ヒトはいつ頃から島という環境で生活をしはじめたのであろうか。本講義では先史時代におけるヒトと島嶼環境について世界レベルおよび地域レベル（主に奄美・沖縄諸島）で考察する。また，ヒトと島嶼環境を理解するために，人類学や生態学等の情報も提供する。
島嶼経営論 未定	未定
島嶼産業論 西村　　知　教授	離島はその狭域性のゆえに産業編成の基準が本土とは異なる。規模の経済が機能しないため，民間の産業があまり育たず，現代的な居住条件を整えようとすれば多くの分野を公共直営で担わなければならなくなる。そこから，大きな非効率が発生する。この非効率をいかに抑制するか。その工夫に際して，今日の革新的な技術をどう取り入れるかが問われる。講義ではこれらの点を解明する。
島嶼経済論 西村　　知　教授	島嶼経済の特徴は，遠隔性，狭隘性，隔離性などがある。これらの特徴は，プラス，マイナスの両面を持つ。プラスの点は，特有の文化を基盤とした，農業，観光業，食品加工業などの潜在力である。マイナスの点は，地域の経済規模が小さいこと，輸送などのコストがかかること，地域外の市場情報が欠如していることなどである。本講義では，島嶼地域経済を総合的に把握し，地域経済発展のあり方を考察する。
島嶼人類学 未定	未定
島嶼信念システム論 未定	未定
島嶼社会論 尾崎 孝宏　教授	海洋という人類の居住不可能な地域に囲まれた可住地，という島嶼の持つ立地特性は，必ずしも島嶼に限られたものではなく，例えば砂漠に囲まれたオアシス都市なども，同様の条件を有する。本講義では，こうした「島嶼的」な諸社会の立地を比較することで，自らのフィールド空間である，いわば「私の島」を，島嶼という文脈を離れて世界の諸社会の中に的確に位置づけるための視座の獲得を目指す。

島嶼自然論 山本 宗立　准教授 （鹿児島大学 国際島嶼教育研究 センター）	隔絶した小島嶼においては，島内での食糧・薬・工芸作物の確保が非常に重要である。自然災害や社会変化によって，島外からの資源に長期間頼ることができない状況がよく発生するにも関わらず，輸入資源に依存した生活に変化した島が多い。フードセキュリティーの観点から，島嶼部における有用植物を知ることは非常に重要となる。そこで，まず島嶼部における作物の特徴を理解するために，私達が日常食べている作物の起源地を学ぶとともに，島嶼部の「根菜農耕文化複合」を理解する。次に，植物（だけでなく生物）が資源としてどのように利用されているかを民族植物学的視点から学ぶ。
島嶼政策特論	既存の開設科目以外の研究分野について，本専攻および外部の講師によって担当される講義となる。具体的な授業の内容については，講義担当者が決定したときに掲示連絡を行うので，注意して履修を申し込むこと。

【履修について】

(1) 昼夜開講制

大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置（昼夜開講制）の趣旨を積極的に活用し，職業を有する社会人の受け入れを行う。

(2) 学　位

本専攻において，原則として３年以上在籍し，必修科目を含めた所定の単位（14 単位以上）を修得し，かつ博士論文の審査ならびに，最終試験に合格した者には「博士（学術）」の学位が与えられる。

外国人留学生特別選抜
新型コロナウイルス感染症対策特別入試
（４月入学）

出 願 関 係 書 類

外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試用

2023 年 4 月入学
鹿児島大学大学院人文社会科学研究科 入学願書
（博士後期課程）

ふりがな		受験番号	※	
氏　　名				
英語氏名				
生年月日	年　　月　　日（　　歳）	男 ・ 女	国　　籍	
志望専攻	地域政策科学　専攻	入学後希望する専門分野		
出願資格	大学　大学院 研究科　　専攻 年　　月　　日　修了　・　修了見込			
現住所		写真貼付欄 正面上半身無帽で，出願前 3 か月以内に撮影したもの。 （縦 4.5cm×横 4cm） 写真の裏面に氏名を記入し貼付。		
	連絡のつくメールアドレス			
	電話番号(自宅)　　―　　―　　(携帯)　　―　　―			

履　　歴　　事　　項		
期　　間	年　数	学 校 名 及 び 勤 務 先 名 等
年　月～　年　月		
年　月～　年　月		
年　月～　年　月		
年　月～　年　月		
年　月～　年　月		
年　月～　年　月		
年　月～　年　月		

（入学願書記入上の注意）

1. ※印欄は，記入しないこと。
2. 履歴事項は，高等学校入学時から職歴も含め記入すること。
3. 提出された書類については，学務業務のために利用し，他の目的には使用しない。

外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試用

2023 年 4 月入学

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科

（博士後期課程）

写　　真　　票

受　験　番　号	※		
ふ　り　が　な			男・女
氏　　名			
志　望　専　攻	地域政策科学　　専攻		

写真貼付欄

正面上半身無帽で，出願前 3 か月以内に撮影したもの。
（縦 4.5cm×横 4cm）
写真の裏面に氏名を記入し貼付。

----------切　り　は　な　さ　な　い　こ　と----------

外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試用

2023 年 4 月入学

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科

（博士後期課程）

受　　験　　票

受　験　番　号	※		
ふ　り　が　な			男・女
氏　　名			
志　望　専　攻	地域政策科学　　専攻		

写真貼付欄

正面上半身無帽で，出願前 3 か月以内に撮影したもの。
（縦 4.5cm×横 4cm）
写真の裏面に氏名を記入し貼付。

----------切　り　は　な　さ　な　い　こ　と----------

（注意事項）

1. ※印欄は，記入しないこと。
2. 受験票は，試験当日，必ず持参すること。
3. 受験票は，入学手続きの際必要となるので紛失しないこと。

（外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試　出願用）

研　究　報　告　書（地域政策科学専攻）

（様式Ｂ－１）

氏　　名	

（外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試　出願用）

（様式Ｂ－２）

研　究　計　画　書（地域政策科学専攻）

氏　　名	
履習コース名	

１．これまでの研究成果（500 字程度）

２．今後の研究計画（700 字程度）

（外国人留学生特別選抜　新型コロナウイルス感染症対策特別入試　**出願用**）

履　　歴　　書

年　　月　　日現在

ふりがな 氏　　名		□男　□女 サイン	在留資格 （予定を含む） □留　学 □家族滞在 □その他（　　）	写真貼付欄 正面上半身無帽で，出願前３か月以内に撮影したもの。 （縦 4.5 ㎝×横 4 ㎝） 写真の裏面に氏名を記入して貼付。
生年月日	年　　月　　日 （満　　歳）	国　籍		
現 住 所 電話番号	☎			
帰省先住所 電話番号	☎			

学歴

	学校名及び所在地	修学年限	入学及び卒業年月	専攻科目	学位・資格等
初等教育 小　学　校	学校名 所在地	年	年　　月入学 年　　月卒業		
中等教育 中　学　校 高等学校	学校名 所在地 学校名 所在地	年 年	年　　月入学 年　　月卒業 年　　月入学 年　　月卒業		
高等教育 大　　学	学校名 所在地	年	年　　月入学 年　　月卒業		
大学院	学校名 所在地	年	年　　月入学 年　　月修了		

職歴

勤務先及び所在地	勤務期間	役職名	勤務内容
勤務先名 所在地	自　　年　　月 至　　年　　月		
勤務先名 所在地	自　　年　　月 至　　年　　月		

家庭状況

氏　　名	続　　柄	年　　齢	職　　業	住　　所

免許・資格

取　得　年　月	免　許・資　格

その他

本人希望記入欄

（記入上の注意）

・□欄は，該当するものに✓印を付けること。
・志願者の個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報に関する法律」に基づいて扱い，入学者選抜・合格者発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務を行うためのみに利用し，他の目的には使用しない。

令和5年度鹿児島大学大学院人文社会科学研究科
検定料収納証明書貼付台紙

氏名		受験番号	※

□ コンビニエンスストアでの支払い
□ クレジットカードでの支払い

『検定料収納証明書』

貼付欄

□ 出願時において国費外国人留学生（日本政府）である者
（該当者は☒をいれてください。**検定料は不要**です。）

◆次のいずれかの方法により支払ってください。

1. コンビニエンスストアでの支払い

（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください）

(1) 「検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、事務手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。

(2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、本台紙の所定の欄に貼り付けてください。

(3) 支払期間 出願期間最終日の 15 時まで（「Web サイトでの申込み」は、支払期間終了 60 分前まで）

2. クレジットカードでの支払い

（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください）

(1) 「検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、事務手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。

(2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、本台紙の所定の欄に貼り付けてください。

(3) 支払期間 出願期間最終日の 15 時まで

（注）※印欄は記入しないでください。

鹿児島大学 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで
24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、
もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。

2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払い

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Loppi へ

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】
を入力

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Famiポート へ

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】
を入力

店頭端末機より出力される「申込券 」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料　取扱明細書」を受け取ってください。

クレジットカードでお支払い

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、
必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、
支払方法で
「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、
正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会
(URL:https://e-shiharai.net/)　にアクセスして下記の手順に従って、
「収納証明書」を印刷してください。

3 出　願

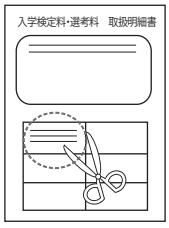
【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、
入学志願票の所定欄に貼る。

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」に
アクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と
【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、
入学志願票の所定欄に貼り出願。



＜注意＞
プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

●携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

●出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

●支払最終日の「Webサイトでの申込み」は14:00まで、店頭端末機の操作は15:00までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。14:00までにお手続きしてください。

●「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●一度お支払いされた検定料は返金できません。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限ります。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

How to pay the examination fee at Kagoshima University

You can pay the examination fee at convenience stores such as Seven-Eleven, Lawson, Ministop, and FamilyMart, or by credit card 24 hours a day.

Note that the payer is responsible for paying the administrative fee.

❶ Application on the Website

Follow the instructions on the screen to enter the required information and obtain the number needed for payment.

https://e-shiharai.net/

*No amendments or cancellations can be made after the card payment is completed. Please check the details carefully before submitting your application.
*If you notice an input error after getting the number, please do not pay with that number but re-enter the information again to get a new number for payment.
If you do not pay by the due date, the information you entered will be automatically cancelled.
*Please make a note of the number that is displayed on the confirmation screen.

❷ Payment

A payment at convenience stores

7-ELEVEN

『払込票番号』(Payment slip No.)(13-digits)

●At the cashier
Please tell the clerk that you are using the Internet Payment Service and hand over the printed『払込票』(Payment slip) or give the『払込票番号』(Payment slip No.).

The multi-copy machine is not used.

After payment, please make sure to receive the『入学検定料・選考料 取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts).

LAWSON / MINI STOP

『お客様番号』(Customer No.)
(11-digits)
『確認番号』(Authorization No.)
(4-digts)

To Loppi

『各種サービスメニュー』(Services Menu)

『各種代金・インターネット受付』
(Various fees and internet registration)

『各種代金お支払い』
(Payment of various fees)

『マルチペイメントサービス』
(Multi-Payment Service)

Enter your『お客様番号』(Customer No.) and『確認番号』(Authorization No.).

Please pay at the cashier within 30 minutes with the application ticket printed out at "Loppi" or "Famiport". After payment, be sure to receive a copy of the『入学検定料・選考料 取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts).

あなたと、コンビに、FamilyMart

『お客様番号』(Customer No.)
(11-digits)
『確認番号』(Authorization No.)
(4-digts)

To Famiポート

『代金お支払い』(Payment of fee)

『番号入力画面に進む』
(Proceed to the number input screen)

Enter your『お客様番号』(Customer No.) and『確認番号』(Authorization No.).

Payment is complete.
Go to "e-shiharai" (https://e-shiharai.net/) and follow the instructions to print out the『収納証明書』(official receipt).

A payment with your Credit Card

VISA / mastercard / AMERICAN EXPRESS / JCB

Select『クレジットカード』(Credit Card) as the payment method when you apply online.

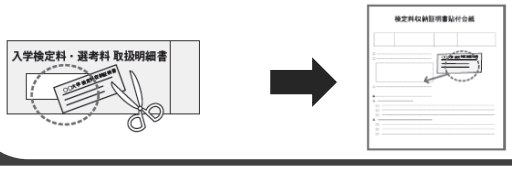
Enter the credit card information.

All the information you entered will be displayed, and if it is correct, press『確定』(Confirm).

❸ Application

Payment at a convenience store

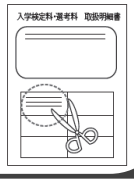
After payment, cut out the『収納証明書』(official receipt) portion of the『入学検定料・選考料 取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts) received at the cashier and attach it on the designated area of『検定料収納証明書貼付台紙』(confirmation slip)



Payment by credit card

After payment, print out the『入学検定料・選考料 取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts), cut out the『収納証明書』(official receipt) portion, and attach it on the designated area of the『検定料収納証明書貼付台紙』(confirmation slip)

Attention
Please use this option only if you have access to a computer, smartphone, or other environment with a printer.



- ●During payment periods and application periods mentioned in the application documents, you can make a payment anytime.
  Please confirm from application documents and complete payment in time for the application period.
- ●Application on the website must be completed by 2:00pm on the due date, and operation of the terminal machine at the store must be completed by 3:00pm. If you use a credit card, the payment will be completed at the same time as the application on the website. Please complete the procedure by 2:00pm.
- ●Please note that refund is not possible once you have made a payment of examination fee.
- ●It is possible to use a card which carries a name different from that of the applicant. However,please make sure that the information on the basic information page is the applicant's information.
- ●Please directly contact the credit card company if your card is not accepted.
- ●The『収納証明書』(official receipt) can be printed from the『申込み内容照会』(Application Details Inquiry) page only if you have paid by credit card.
- ●Note that inquiries about payment of examination fees are not answered at convenience stores. Please check the Web site for details.

For questions or problems not mentioned here, please contact :
E-Service Support Center Tel : +81-3-5952-9052 (24 hours everyday)